

＜研究課題名＞	E-1003	次世代自動車等低炭素交通システムを実現する都市インフラと制度に関する研究	
<p>＜研究概要＞</p> <p>本研究では、電気自動車等次世代自動車の普及促進に代表される低炭素交通システムの実現に係る都市インフラや制度に関する研究を行う。</p> <p>低炭素交通システム実現の切り口としては、①環境税や研究代表者が提唱するPDS（Parking Deposit System:駐車デポジット制度、研究代表者らが国土交通省の助成を受けた研究で既に有効性は検証済み）等のプライシングスキームによる次世代自動車への買換え促進と自動車の利用抑制 ②次世代自動車の充電施設の配置計画と再生可能エネルギーの徹底活用策 ③TDMやITS、LRT、EVカーシェアリング、都市空間再構築等を組み合わせたパッケージ施策の導入 による方法を検討する。</p> <p>各サブワーキングの具体的な検討項目は以下の通りである。</p> <p>(1) 低炭素交通システムを実現するモビリティデザインの方向性に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気自動車の普及・活用策やプライシング施策等について欧米の先進事例の技術、法制、合意形成手法等のデータベースを構築する。</li> <li>・低炭素社会における新しいモビリティ像とモビリティデザインの構築方法、及び実施マニュアルを作成する。</li> <li>・次世代モビリティデザインによる低炭素交通社会の効果を3D環境評価システムを用いてCO2・ヒートアイランドの点から評価する。</li> </ul> <p>(2) ライフスタイル（生活・交通行動）を考慮したパッケージ施策に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代自動車の普及を高めるプライシング施策やTDM等パッケージ施策を提案する。</li> <li>・交通部門のCO2削減に最も効果的なパッケージ施策（プライシング、TDM、ITS、LRT、空間再編等）を提案する。</li> </ul> <p>(3) 低炭素交通システムにおけるエネルギーと都市環境の総合評価に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代自動車の普及時における電力需給の把握と再生可能エネルギーの利用可能性に関する研究を行なう。</li> <li>・次世代自動車の普及時における都市圏レベルの熱環境評価を行なう。</li> </ul> <p>(4) 低炭素交通システムの実現に向けた制度設計と合意形成手法の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路・自動車関連税制や、環境税やPDS等のプライシングスキームの制度設計を検討する。</li> <li>・税制や制度の実現性に向けた社会的合意形成手法を開発する。</li> </ul>			
＜研究代表者＞	森川 高行		名古屋大学大学院・環境学研究科・教授（51才）
No.	サブテーマ名	氏名	所属機関名・部局・役職名
(1)	低炭素交通システムを実現するモビリティデザインの方向性に関する研究	山村 真司	㈱日建設計総合研究所・上席研究員
		○ 安藤 章	㈱日建設計総合研究所・主任研究員
(2)	ライフスタイル（生活・交通行動）を考慮したパッケージ施策に関する研究	◎ 森川 高行	名古屋大学大学院・環境学研究科・教授
		山本 俊行	名古屋大学大学院・工学研究科・准教授
		三輪 富生	名古屋大学・エコトピア研究所・准教授
		佐藤 仁美	名古屋大学大学院・環境学研究科・特任助教
(3)	低炭素交通システムにおけるエネルギーと都市環境の総合評価に関する研究	○ 奥宮 正哉	名古屋大学大学院・環境学研究科・教授
		飯塚 悟	名古屋大学大学院・環境学研究科・准教授
(4)	低炭素交通システムの実現に向けた制度設計と合意形成手法の開発	○ 竹内 恒夫	名古屋大学大学院・環境学研究科・教授
		杉山 範子	名古屋大学大学院・環境学研究科・准教授